

平成22年度春期 ITパスポート試験 分析報告

株式会社ウイネット
情報処理教育研究室

新試験制度での3回目のITパスポート試験が4月18日(日)に実施されました。

この度弊社では、模擬試験ご採用校様の一部並びに弊社教材外部ライティングスタッフの皆様から、本試験出題内容に関するご意見を聴取させていただき、情報処理教育研究室で整理及び分析を行いました。今後のご参考として、今回の本試験分析をご報告させていただきます。

1. 分野別出題数

	分野	平成22年度春期			平成21年度秋期			平成21年度春期		
		小問	中間	合計	小問	中間	合計	小問	中間	合計
1	ストラテジ系	30	5	35	28	7	35	31	4	35
2	マネジメント系	21	4	25	25		25	22	3	25
3	テクノロジ系	37	3	40	35	5	40	35	5	40
	合計	88	12	100	88	12	100	88	12	100

- 小問は問1～問88の88問、中間(中間A～C)は問89～問100の12問で構成されています。上の表の合計列が分野別の出題数であり、情報処理技術者試験の試験要綱(IPA)の14ページに、100問出題中、“ストラテジ系”35%、“マネジメント系”25%、“テクノロジ系”40%と明記されています。
- 中間の出題数をみると、前回の試験と比較して、ストラテジ系とテクノロジ系の出題が少なく、マネジメント系の出題が多くなっています。

2. 大分類別出題数

	大分類	平成22年度春期			平成21年度秋期			平成21年度春期		
		小問	中間	合計	小問	中間	合計	小問	中間	合計
1	企業と法務	16		16	11	4	15	14	4	18
2	経営戦略	5	4	9	10	2	12	10		10
3	システム戦略	9	1	10	7	1	8	7		7
4	開発技術	9		9	11		11	9		9
5	プロジェクトマネジメント	4	4	8	7		7	6		6
6	サービスマネジメント	8		8	7		7	7	3	10
7	基礎理論	9	1	10	5	1	6	5	3	8
8	コンピュータシステム	10		10	10		10	12		12
9	技術要素	18	2	20	20	4	24	18	2	20
	合計	88	12	100	88	12	100	88	12	100

- 前回の試験と比較して、2問以上出題数が増えた大分類は、“基礎理論(+4問)”、“システム戦略(+2問)”でした。
- 前回の試験と比較して、2問以上出題数が減った大分類は、“技術要素(-4問)”、“経営戦略(-3問)”、“開発技術(-2問)”でした。

3. 中分類別出題数

	中分類	平成22年度春期			平成21年度秋期			平成21年度春期		
		小問	中間	合計	小問	中間	合計	小問	中間	合計
1	企業活動	11		11	7	4	11	8	4	12
2	法務	5		5	4		4	6		6
3	経営戦略マネジメント	3	4	7	7	2	9	7		7
4	技術戦略マネジメント	0		0	0		0	0		0
5	ビジネスインダストリ	2		2	3		3	3		3
6	システム戦略	5	1	6	5	1	6	5		5
7	システム企画	4		4	2		2	2		2
8	システム開発技術	8		8	10		10	8		8
9	ソフトウェア開発管理技術	1		1	1		1	1		1
10	プロジェクトマネジメント	4	4	8	7		7	6		6
11	サービスマネジメント	5		5	6		6	5	3	8
12	システム監査	3		3	1		1	2		2
13	基礎理論	5		5	3		3	4		4
14	アルゴリズムとプログラミング	4	1	5	2	1	3	2	2	4
15	コンピュータ構成要素	3		3	3		3	1		1
16	システム構成要素	3		3	4		4	4		4
17	ソフトウェア	3		3	3		3	5		5
18	ハードウェア	1		1	0		0	2		2
19	ヒューマンインタフェース	0		0	0		0	1		1
20	マルチメディア	1		1	1		1	1		1
21	データベース	2	2	4	3	4	7	3	1	4
22	ネットワーク	5		5	5		5	3	2	5
23	セキュリティ	10		10	11		11	9		9
	合計	88	12	100	88	12	100	88	12	100

- 前回の試験と比較して、2問以上出題数が増えた中分類は、“システム企画(+2問)”、“システム監査(+2問)”、“基礎理論(+2問)”、“アルゴリズムとプログラミング(+2問)”でした。
- 前回の試験と比較して、2問以上出題数が減った中分類は、“データベース(-3問)”、“経営戦略マネジメント(-2問)”、“システム開発技術(-2問)”でした。

4. 中間A～C(問89～問100)

中間A～Cの出題内容と難易度は、次のとおりです。

中間Aは、在庫管理システムの開発計画の問題でした。分野構成は、マネジメント系4問でした。問89と問90はWBS、問91は作業日数、問92は作業の終了日を問う問題が出題されました。特に問89と問90は正答が難しい問題であったため、難易度はやや高いと考えます。

中間Bは、文献の貸出管理業務の問題でした。分野構成は、ストラテジ系1問、テクノロジ系3問でした。問93はデータベースの主キー、問94はDFD、問95は流れ図、問96はデータベースの抽出条件を問う問題が出題されました。難易度は中程度と考えます。

中間Cは、事業戦略立案の問題でした。分野構成は、ストラテジ系4問でした。問97と問98はSWOT分析、問99は方針案1(システム化)、問100は方針案2(事業の買収)を問う問題が出題されました。特に問97と問98は易しかったため、難易度はやや低いと考えます。

5. 合格ライン

“100問の正答率が60%以上”、かつ、“各分野の正答率がすべて30%以上”で合格です。合格率は、前回の試験よりもやや高くなると考えます。

6. 今後の指導方法

まずは、シラバスに記載されている重要用語をマスタすることが重要です。また、計算・思考・図表問題対策として、初級システムアドミニストレータ試験や基本情報技術者試験の午前過去問題の中でITパスポート試験に出題が考えられる問題を演習することが効果的です。さらに、中間の対策として、初級システムアドミニストレータ試験の午後過去問題の中で、データ分析、セキュリティ、ネットワーク、データベース、障害対策、運用管理などを演習することも得点力アップにつながります。